

# 磐田地区制服選定委員会だより

令和6年7月吉日



第一回制服選定委員会が行われました。まずは事務局より、制服のあり方検討委員会が令和6年2月にまとめた報告書の説明を行いました。



## 磐田地区の制服の現状

☆ブレザータイプ1校  
☆詰襟学生服・セーラー服9校  
各制服の素材等に応じて複数の価格帯が提示されている。

## 国・県・近隣市町等の動き

・最終的に校長の権限で制服選定をするが、保護者、学校関係者から意見聴取することが望ましい。  
・LGBTQに配慮  
・掛川市・袋井市は令和6年度より新制服導入(市内で検討後)  
・浜松市は令和5年度に「浜松市立中学校制服のあり方検討委員会」が設置

## 制服の ○メリット▲デメリット

○経済的格差が表れにくい。  
○愛校心、帰属意識が高められる。  
○毎日の服装選びに悩まない。  
○冠婚葬祭でも着用できる。  
▲夏暑く、冬寒い。▲動きやすさ、着やすさに難あり。  
▲多様な着方ができない。

## 磐田地区アンケート結果より

(小中学生、保護者、教員)  
・いずれも機能性、気候に応じたものへの要望が大変多い。  
・保護者、教師はさほどではないが、子供たちはデザイン性を評価する。

## 磐田地区が今後の制服に求める諸機能

機能性(家庭で洗濯できる素材・撥水・速乾性のある素材、丈直しが容易にできる機能など)、経済性、多様性

→ブレザータイプへの変更



## 磐田地区制服選定委員会の今後の予定(令和6年度中)

- 1 メーカーへの企画書を作成
- 2 プロポーザル方式によるマスターメーカー選考
- 3 サンプルの絞り込み
- 4 アンケートを基に最終デザイン決定

各校では以下のことについて検討されます。

- ・新制服をいつ導入するのか
- ・移行期間をどうするか
- ・リボンやネクタイの着用の有無
- ・Yシャツ、ポロシャツの選定

制服のあり方検討委員会報告のなかで、磐田地区制服選定委員会の目的、制服の意義、市内で統一すること、移行期間について中学校代表校長よりさらに説明がありました。今回のたよりでは Q&A 形式でお伝えします。



**Q:なぜ制服を変えることになったのですか？**

A:近年気候変動や社会の急速な変化により、登下校を含めてより快適で過ごしやすい服装や多様性、保護者の負担など様々な観点から制服のあり方が問われています。気温に応じてセーラー服は着脱ができないことから、気温の感じ方によって調整できる制服が必要であり、また、スカートについては、冬は寒く、自転車通学者にとっては、安全面も指摘されます。様々な理由で、スラックスやスカートを自分の判断で選ぶことができることを希望する声も多く、儀式や入試、冠婚葬祭など、TPOにあった服装選びをすることも大切だと考えました。

**Q:なぜ、磐田地区で統一の制服にする必要があるのですか？**

A:磐田地区で制服の仕様を共通にすることで、スケールメリットが発生し、保護者に対する販売価格を抑える効果があると考えました。その他、磐田地区で制服が統一されることで、リサイクル等の利便性が上がり、同一市内で転校した場合は、制服の買い替えをしなくてすむことも理由です。

**Q:磐田地区中学校の制服がまったく同じになるのですか？**

A:経済的な負担を軽減するために、磐田地区の中学校で同じデザイン(ブレザー、スラックス、スカート)を採用することを考えています。ネクタイやリボンについては統一せず、各校で検討していきます。Y シャツ、ポロシャツについても各学校で検討していきます。

**Q:いつから制服が変わるのですか？ 移行期間は何年間ですか？**

A:令和8年度から新制服導入開始を予定していますが、新制服を導入するかどうかは各学校の判断となります。移行期間は3年が望ましいと考えますが、今後各学校で検討していきます。



グループに分かれて話し合いました。委員からの意見の一部を紹介します。

既に新しい制服を使っているながふじ学府の子供たちの声を聞きたい。

中学生は、やはりおしゃれにも興味がある年頃なので、見た目も大事。

素材開発技術も進んでいるので、運動もできて見た目が改まった雰囲気のある制服もあるのでは。

個々の体型に合う成長に合わせられる機能があることが条件として大事。



価格は着心地や素材に比例していく。型式を決めるだけになるか。

アンケート対象及び結果に対する重み付けの検討が必要。

市販のものを選んで着たいという子供の声もある。

制服を着る機会を増やしたい。

中に着る物は手軽に洗えるものがよい。